

Asia Indicators

発表日:2023年5月16日(火)

オーストラリア:輸出入(23年3月)

～中国向け輸出が過去最高額を記録、コロナ禍での豪中の緊張関係に雪解けの兆し～

第一生命経済研究所 経済調査部
主任エコノミスト 阿原 健一郎(Tel:050-5470-4868)

3月のオーストラリアの貿易統計は、輸出額が前月比+3.8%、輸入額が前月比+2.5%、季節調整済の貿易収支は+153億豪ドルの黒字となった(図表1)。輸入も輸送用機械を中心に増加したものの、鉄鉱石を中心として輸出の伸びが上回り、貿易収支の黒字幅が拡大した(図表2)。

輸出を品目別にみると、足もとでは、天然ガス、石炭の輸出が減少する一方、鉄鉱石が増加基調にある(図表3)。天然ガス、石炭の輸出減少は、欧州の天然ガス不足の懸念後退により天然ガス、およびその代替として使用される石炭の需給が緩み、価格が下落した影響が大きい。鉄鉱石については、中国を中心とした経済再開によるインフラ関連需要の増加、それに伴う価格上昇により輸出が増加したとみられる。

輸出を仕向け地の国・地域別にみると、最大の輸出相手国である中国が引き続き高い水準で推移している。3月単月の中国への輸出額(季節調整前)は、1988年の統計開始以降、過去最高額となった(図表4)。近年、悪化していた豪中関係はここにきて改善へ向かっている。中国への輸出額の推移を振り返ると、2020年以降は減少が続いていた。これは、当時のモリソン政権(自由党)が新型コロナウイルスの発生源に関する調査を要求したことで、これに反発した中国がオーストラリアへの貿易制裁を導入したためである。貿易制裁は、オーストラリア産の大麦やワインへの追加関税措置、非公式な石炭の輸入制限措置に及び、制裁導入以降は中国への輸出額が大きく減少した。しかし、22年5月に労働党のアルバニー政権が誕生したことを契機に両国の緊張は次第に緩和、直近では23年5月11~13日にオーストラリアのファレル貿易・観光大臣が担当大臣として4年ぶりに訪中する等、雪解けの兆しがみられる。実際に、オーストラリアの中国向け輸出額は足もと増加している。中国は制裁対象外のオーストラリア産の鉄鉱石を輸入し続けるも、石炭の輸入を一部再開している(図表5)。

先行きについては、3月単月では中国を中心に輸出が増加したものの、輸出の増加ペースは幾分鈍化していくと考えられる。上述の通り、中国の貿易制裁の撤廃は期待できるものの、中国の4月製造業PMIは節目の50を下回っており、オーストラリアからの輸出品目である鉄鉱石、石炭の需要が今後頭打ちとなる可能性がある。輸入については、国内の財需要が弱含むも、幾分減少するとみられるため、貿易収支の黒字幅は維持されると考えられる。

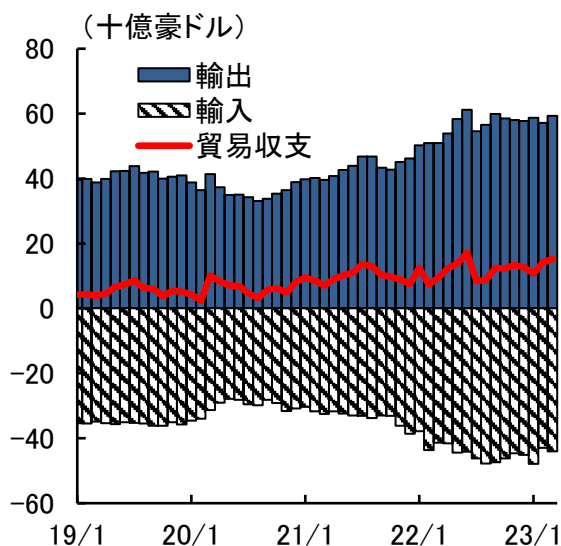
【図表1】オーストラリアの輸出入

		四半期				月次			
		22/2Q	22/3Q	22/4Q	23/1Q	22/12月	23/1月	23/2月	23/3月
輸出	(前期比、%)	14.0	-1.4	1.9	0.5	-0.4	1.6	-2.7	3.8
	(前年比、%)	34.0	24.8	30.1	16.1	26.5	18.3	13.2	16.5
輸入	(前期比、%)	5.9	8.6	-3.8	-0.9	1.0	6.1	-10.2	2.5
	(前年比、%)	34.1	41.5	24.8	10.1	13.3	28.1	-2.2	6.2

(出所)オーストラリア統計局から第一生命経済研究所作成



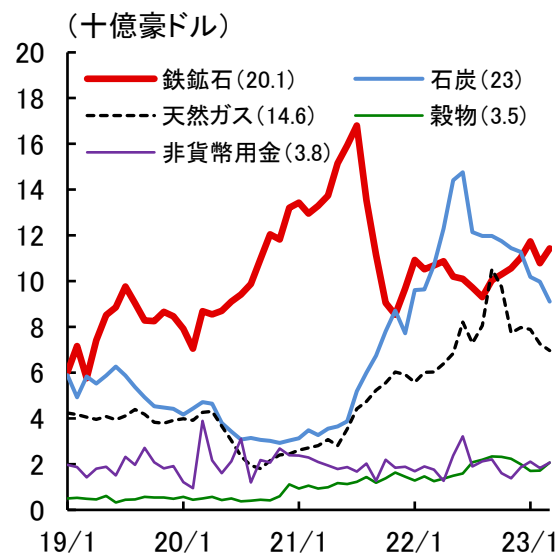
【図表2】輸出入の推移



(注)直近は3月、当局季節調整値。輸入は逆符号で表示。

(出所)オーストラリア統計局より第一生命経済研究所作成

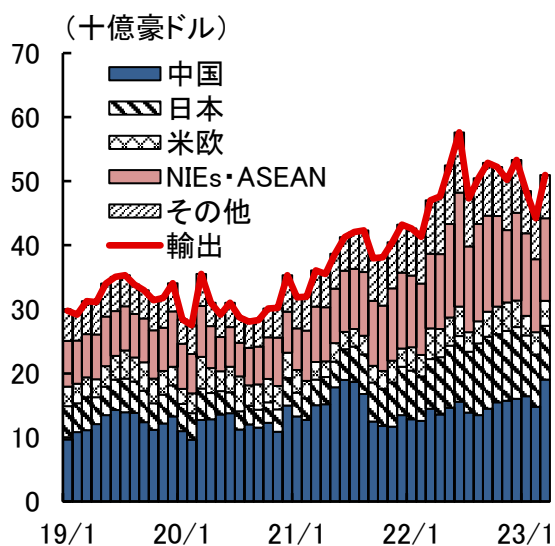
【図表3】輸出の推移(主要品目)



(注)直近は3月、第一生命経済研究所にて季節調整。
()内は22年輸出に占めるウェイト。

(出所)オーストラリア統計局より第一生命経済研究所作成

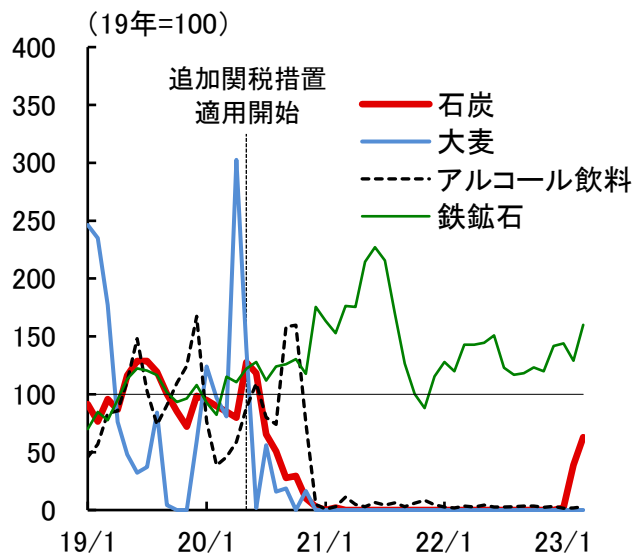
【図表4】輸出の推移(国・地域別)



(注)財輸出、直近は3月。

(出所)Refinitivより第一生命経済研究所作成

【図表5】中国向け輸出の推移



(注)直近は3月。

(出所)オーストラリア統計局より第一生命経済研究所作成

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。